



奨学生に贈る言葉

2021 年卒業生

北海道大学 由良 周子

皆様、今まで大変お世話になりました。歯学部は学生の人数が少ないうえ、非常に閉じたコミュニティーなので、年に1回様々な奨学生に直接お会いできる大変貴重な機会をいただけて沢山のことを勉強させていただきました。また勉学に限らず、本当に多種多様な活動に意欲的に取り組み、結果を残されている皆様ですので、何かと不安定で不便な環境ではありますが、その中でもきっと最大限の努力をされていることだろうと思うと、それを恨んだり嘆いたりする前に同じ奨学生として私も頑張らなければと気持ちを奮いたたせていただきました。本当にありがとうございました。

卒業を間近に控えてみると、私はもっとこうしておけばという後悔の方がより強く思い出されます。月並みな言葉ですが皆様は成果や未来への明るい展望とともに学生生活を振り返ることができるよう一日一日を大切に過ごしてください。

皆様の更なるご活躍をお祈りしております。

北海道大学 勅使 晃平

短い間でしたが、お世話になりました。私と同じく後輩の皆様もこの1年、

新型コロナウイルスの渦中ということもあり、出来れば明るいものにしたかった「人生の夏休み」ともよばれる、この限られた学生生活が暗くなってしまったような気がして残念な感情が渦巻いたこともあるかと思います。発散のしようのないもどかしさや難しさはありますが、この時代を学生として生きた共通財産として「どうやってこの時代を思う存分楽しんだか」を後の時代に共有することができればいいなと思っています。社会からの制約はまだしばらく続くかと思いますが、残された学生生活を思う存分楽しんでください。

北海道大学 大学院 竹井 義貴

奨学生の皆さまには学生時代に自分のしたいことを精一杯取り組んでみてもらえればと思います。自分のやりたいことができるのは今だけだと思いますし、私もそうすることで多くのことを学び、様々な経験をすることができました。その中の全てが役に立ったり意味のあるものとはかぎりませんが、大切なものだと思います。

何事にも挑戦し、実りある学生生活になることを願っています。

慶應義塾大学 倉敷 秀明

大学生としての時間を大切にしてください。時間というものは短くあっという間に過ぎていきます。大学に入りたての頃はつい遊んだり、怠惰に過ごしがちですが、気がつけばすぐに研究や就職活動に取り組む時期がやってき

ます。不思議なことに体感としてはあっという間でも、実際は長い期間が経っていたということはよくあります。この長い期間を自己研鑽の為に使うか、それとも怠惰に浪費してしまうかが大学の後半及び卒業後の進路を決める重要な要素になると思います。皆さんの将来のライバルは今この時期も、黙々と勉学に励んでいたたり、インターンやフリーランスで足早く働いていたたり、ゼミや研究室にアポを取り、活動に参加していたりしています。

そのような経験の多寡が人としてのポテンシャルや社会からの評価に繋がるのだと、研究活動や就職活動を通じて痛感しているところです。

皆さんどうか、大学生として時間を大切にしてください。その長くも短い時間をどう過ごすかが皆さんの将来を決めるでしょう。

聖マリアンナ医科大学 菅澤 佳奈

学生生活は長いようであっという間に過ぎてゆくものです。

後悔のないよう、自分のやりたいことを明確にし、目標に向かってぜひ頑張ってください。皆様のご活躍をお祈りしています。

東海大学 森永 穰太郎

とにかく何でも挑戦しまくってください。金と時間はやり方次第でどうにもなります。コロナ禍で外には出られないけれど、資格なり色々あるはず。やりたい事は、難しい事は、置いといて取り敢えずそれに取りかかってみよ

う。案外なんとかなるかもしれない。お金は貨幣経済が存在しないと通用しないけれど、経験とノウハウは無人島だろうがどこであろうが通用します。

とにかく挑戦しまくって大学生活を充実させて下さい。

東京大学 山田 杏佳

学生でいられる時間を大切にしてほしいです。思いついたことを片っ端から試してみることに、「あともう少しじれば、もっとクオリティが上がるんだ」と締切が過ぎても粘ること、やるべきことを一旦置いておいて遊びに行ってみることに、これらは全て学生だから許容される特権です。

社会人がやると怒られます。学生ならではの生活も全力で楽しみ、充実した時間を過ごしてください。

今の奨学生さんたちは、コロナ禍で 私たちよりずっと息苦しい生活を強いられると思います。どこかで プツンと糸が切れて “もう頑張れない” と 思う日が来るかもしれません。

来ないに越したことはないのですが、もしそうなったとき自分を責めないでください。行事にも手がつかず、ぼっーとする時間は一見無駄なようですが、もう一度頑張るために必要なものなのだと思います。

努力するようには いろいろなところで言われるでしょうから、私からは 休むことも大切にしてほしいと伝えたいです。

東京大学 大学院 吉用 光汰

私は学部一年から修士課程二年までの計六年間、戸田育英財団様より奨学金をいただいております。交流会にも開催中止となった2020年度以外の五年間は毎年参加し、壇上で奨学生の方一人一人が行う近況報告を聞くことを楽しみにしておりました。学年や専攻を問わず奨学生の皆様は戸田育英財団をはじめとして自分を支えている存在や将来等についてきちんと考えている方が多く、そのお言葉にはいつも感じ入っていたものです。改めまして交流会等の場所でお話しを聞かせて下さった方々、そして戸田育英財団様には心から感謝申し上げます。

さて2020年度は大学施設その他多くの事の制限により苦しい思いをなされた方も多数いらっしゃるかと存じます。同年度私自身は修士論文の執筆を進めておりましたが、研究室や図書館の利用制限には苦勞いたしました。何より経済的な苦境に伴う失業・倒産増加の記事や目に見えて増える空き店舗等を見るに、何も出来ない自分の無力さを痛感しておりました。私は、ゆくゆくは社会や国の役に立てるようになりたいと思い、大学院で研究者になるための訓練を積んでおりましたが、今現在の自分の限界を気に病まずにはいただけませんでした。

これまでの交流会で伺ってきたお言葉を思い出すに、これをお読みになっ

ている奨学生の方々は、自分の今後、現実や社会の関わり方、大学生活等についてよく考えていらっしゃる方が多いかと存じます。私ができることには限りがございますが、ゆくゆくは何らかの形で微力でも皆様の一助となるような存在になりたいと考えております。

皆様がご自分の本志を遂げることが出来るよう、お祈りしております。

東京音楽大学 岡本 隆

戸田育英財団をはじめ支えて下さる方への感謝の気持ちを忘れず何事にも果敢に挑戦されると良いのではないかなと思います。

怠けたくなかった時は、何より支えて下さる方（両親など）の顔を思い浮かべてこられると良いのではと思います。（笑）

東洋大学 小谷松 真由

私は大学に入って英語について勉強し、将来も英語を活かした職業に就こうと思い英米文学科に入りましたが、就職先は音楽関係の仕事になりました。

私は大学時代、軽音サークルに所属しており、幼稚園のころからピアノをやっていたり、中高で吹奏楽部に入ったりずっと音楽をやってきて、やはり音楽が自分にとって欠かせないものだと気付いたため音楽系の企業に入りました。やはり大学は勉強するところなので講義に全力を注ぐべきではある

と思いますが、サークル活動などの課外活動もこうして将来につながることもあるかもしれないので、色々なことに興味を持ってほしいと思います。

学生生活全力で楽しんでください！

東洋大学 宮崎 桜子

私は、戸田育英財団の奨学生に採用していただいたことで、大学の海外研修や課外口座など、大学の授業プランアルファの経験を何度もすることが出来ました。後輩の皆さんも、いただいた奨学金を存分に活用して、自分の関心のあることに積極的に挑戦してほしいと思います。

コロナで思うようにいかないことも多いと思いますが、残りの学生生活が実りあるものになりますように。

立教大学 小野 沙稀菜

大学生活、悔いの残らないように一瞬一瞬を大事に生きるということが大切ということをお伝えしたいです。

私自身、金銭面や環境のせいで自らの活動領域や幅を制限したくない、やりたいことをとことん追求したいと思いの元、大学生活を過ごしてまいりました。これを貫くことが出来たのは戸田育英財団様よりいただいていたご支援があったからです。支えていただいているという恩を胸に感謝しながら、のびのびと活動し知識や経験を得て社会へ出た際に力を発揮し大いに貢

献することが大事だと考えております。

勉学、部活動、サークル、趣味、アルバイト等何を取り組むにしても目標を立ててその目標に向かって着実に努力することができれば学生を終えるころにはやり切った感情や次のステップへの目標を立てることが出来ると思います。自分の意思を貫いて楽しんでください。

早稲田大学 鈴木 改

新型コロナが席卷している日々が続きますが、皆様はお元気にお過ごしでしょうか。私は卒業旅行などあまり行けておらず少し悔しいですが、満足に大学生活を終わらすことが出来そうです。

大学生活の中で戸田育英財団の集いは他ではできない経験でした。基本、学生はどうしても自分の属する学校内での交流がメインとなるため他学校の学生と交流できるこの会は貴重でした。特に自分の所属する学部以外の分野を勉強している方のお話しや無人島に行った等自分の周りでは聞いたことない話などを聞き、とても有意義なものでした。なので皆様も多くの交流をして有意義に活用してください。

最後に戸田育英財団の皆様には本当にお世話になりました。4年間もご支援いただき誠にありがとうございました。

早稲田大学 齊藤 友希

私は贈りたい言葉は “しない後悔よりもした後悔” です。大学では自分から求めない限り何も得ることはできません。でも何かをしたいと思い行動すると多くの事を得ることが出来ると感じました。たとえやってみて失敗して、後悔したとしてもやらなかった後悔よりもはるかに大きなものを得ているはずです。自分の限界は自分が決めることです。自分が出来ると思ったら惑わず挑戦することが大切だと思います。

そして何かにつまずいてしまったら、少し周りを見て下さい。どんな時でも、きっと誰かが信じて見守ってくれるはずです。

残された大学生活を思う存分楽しんでください。

早稲田大学 大学院 長澤 美知

大学生活のうち、思いのほか楽しいイベントは卒論と修論の執筆です。あらゆる先輩から大量の差し入れをもらい、提出間際になるとみんなであたふたし、文化祭前のような気分でした。また1つのテーマについてどうアプローチし、どんな順序で話を展開させるか、じっくり何回も考えられる贅沢な時間だったと思います。

ただ、学生の論文1つで扱える範囲はとても狭く、成果も解決したい問題全体の大きさに比べれば微々たるものです。今でこそいい思い出ですが、論文を書いている最中は途方に暮れていました。そんな時、先生から頂いた言

葉が「どこまで見通しが立って、何が課題として残る、または見えてきたのかを示せばよい」というものです。言われてみれば当たり前のことですが、これによって、自分の論文の立つ位置や研究意義を再確認でき、論文執筆の励みになりました。

大学生活は、もちろんこれ以外にも楽しいことに溢れていると思います。皆さんもぜひ大学生活を満喫してください。

早稲田大学 大学院 森 唯人

学部・大学院の計6年間で学んだ大切なことは「考える」ということだと思います。当たり前だと思うかもしれませんが、意外と皆は「考える」ことをしていないと思います。よくよく自分の行動などを振り返ってみると気付くのではないかと思います。

世の中のあらゆること全てにおいて「考える」ことをしなければならないということではないと思いますが、「考える」ことを放棄する癖を付けないでほしいと思います。特に就活が始まってくると「考える」ことをしてきた人とそうでない人に大きな差が出てくると思います。

コロナウイルスで不自由な世の中になった時にも、差が出ていたと思います。後輩の皆様は非常に優秀であると思うので、「自分はこの程度だろうな」とラインを引いて思考を停止するのではなく、常にあらゆることを考えて、

上昇し続けてほしいと思います。

同志社大学 山本 莉未

大学4年間は本当にあっという間です。大学では時間を作ろうと思えばいくらでも作ることが出来ます。その時間をいかに有意義に使うかが大事だと思います。留学に行ったり、アルバイトをして社会性を身につけたり、大学生らしく遊んだり、悔いのないよう、やりたいと思ったことを思う存分やってください。

もちろん頑張ることも大切ですが、体をしっかり休めることも大切です。

皆さんが良い大学生活だったといえるように充実した毎日を過ごせることを祈っています。応援しています。

同志社大学 大学院 藤元 結音子

世界が社会がこのような状況で大学生になった方、思っていた大学生活とは違ったと感じている奨学生の皆さんへ。

悔しい思いをされている方も多いかもしれません。

コロナウイルスの流行は私たちに私たちが思い描いているあたり前が、本当はあたり前でないことを教えているのかもしれない。

毎日学校に行けること、仕事があること、会いたい友達に会うこと、家族と同じ空間で過ごすこと、人と食事をする事、行きたい所に行くこと。

その1つ1つが今はとても貴重で幸せなことだと感じますね。「あれもできない、これもできない」そう感じてしまいがちですが、いろいろなことに制約がある中で、何か1つでもすることができたとき「幸せだな」と感じられる素敵な人になってください。

そして2年後、3年後、4年後どんな形でもよいので、誰かのあたりまえを支えられる人になってください。

みなさんはその可能性にあふれています。

立命館大学 塚田 悠衣

この様な大変な時代の中で、後輩の方々はきっと将来に不安を抱いているかと思います。向こう数十年は安定と言われていた職種や業界もどうなるかわからないような状況になってしまいました。しかし、だからこそ今が自分の本当にしたいことを探し直すことが出来るタイミングだと思います。

世の流れとしてこの職や業界に入っていればと言うので将来を選ぶのも一つの選択であり正解だと思います。しかしこんなご時世の中で安定した道が分からないこそ、自分が仕事としてやりたいことを流行りや損得だけでない部分で見極めることが大事なのではないかと思います。

その先で挫けた時や辛い時に自分自身の意思が何よりの頑張るモチベーションになり、ただでさえどんよりとしたこんな時代でも自分を持って前を

向いて歩めると思うからです。

実際私は、不安定ながらも自分のやりたいことへ繋がる道を選びました。とても不安ですが、何よりも心からやりたいと思えることなので頑張ることが出来ています。

皆さんにも、時代に流されない様な本当にやりたいことが見つかることを祈っています。

立命館大学 大学院 小宮山 慧南

奨学生の皆様、学生生活は本当に一瞬で過ぎ去ってしまいます。あれも、これもやってみたいと考えて日々を過ごしている内に、気付くと就職活動や進路決定の時期と重なっています。皆様、それぞれ夢や目標をお持ちだと思いますので、限られた学生生活の中で自分自身をみつめ直し、将来を見据えて自分の行うべきことに真摯に取り組んでください。

あなたの人生はあなたのもの、自分を律して自ら考え、納得のできる日々を過ごしていただきたいと思います。

その様にして日々を過ごすうえで忘れてはならないのは感謝です。皆様を見守り、支えて下さる周囲の方々、お世話になっている方、ご友人は勿論のこと、ご家族への感謝を忘れずに、自分の気持ちに素直になって夢に向かって走り続けてください。何よりも、日々の生活を奨学金という形でご支援く

ださっている戸田育英財団の皆様にご感謝してください。

一日一日を大切に過ごしていただけたらと思います。

皆様のご活躍を心よりお祈り致します。

京都大学 諸野 雅

大学生活の4年間は皆さんが予想しているより、はるかにすぐ終わってしまいます。1日1日を大切に、昨日の自分よりも成長できたと思うように頑張ってください。

またこれまでの人生と異なり、自ら情報をキャッチして自らやりたいこと、あるいはやるべきことを見つけていかねばなりません。大変なことも多いとは思いますが、その分楽しいことも沢山あります。頑張ってください！

筑波大学 大江 笑南

苦しい状況下での学生生活を余儀なくされていると思います。

ピンチをチャンスに変えるという言葉聞き飽きた方もいるでしょう。

しかし、改善の兆しも見えています。この流行が一段落した時に何がしたいかを考えて、今はそのための準備期間と捉えれば心も軽くなるかと思えます。今年度は去年よりは有意義な生活が送れるはずです。

かく言う私も、今年の秋からの留学を計画中です。今後の修士2年間コロナに負ける気はまったくありません。一緒に頑張りましょう！